

第六回小平市みどりの基本計画検討委員会要録

開催日時

平成 22 年 2 月 5 日（木曜）午後 6 時 05 分～午後 8 時 35 分

開催場所

小平市役所 6 階 600 会議室

出席者

金子委員長、山田副委員長、荒木委員、菊地委員、鈴木委員、竹内委員、野口委員、原田委員、前田委員、和智委員 10 名

（事務局）2 名

（支援業者:株式会社 環境・グリーンエンジニア） 2 名

（傍聴者 なし）

会議次第

- 1 開会
- 2 議事
 - （1） 公表までのスケジュール
 - （2） 小平市みどりの基本計画 2010（案）の確認
 - （3） その他
- 3 閉会

配布資料

1. 議事次第・委員名簿
2. 小平市みどりの基本計画 2010（案）（事前配布）
3. 資料－1 第五回小平市みどりの基本計画検討委員会要録
4. 資料－2 参考資料 委員会のポイント及びタイムスケジュール
5. 資料－3 公表までのスケジュール
6. 資料－4 参考資料 小平市みどりの基本計画 2010（案）の構成
7. 資料－5 参考資料 主要な変更点
8. 補足意見回答票

事務局

小平市みどりの基本計画検討委員会は、本日が最終回（第6回目）となる。皆さまの誠意ある努力と検討の結果として小平市の特性に見合ったみどりの保全と創生という観点からの素晴らしい基本計画を策定して頂き、深く感謝を申し上げたい。事務的な手続きを経て、新年度より新しい基本計画が執行される。小平市はこの計画に沿ってあらゆる努力を行いたい。また、市民の皆さまと一体となって行政を推進していくことが小平市の環境を守ることだと信じている。今後とも、皆さまの一層のご指導とご協力を賜りたい。

<議事>

1. 公表までのスケジュール

（事務局より公表までのスケジュールについて説明）

2. 小平市みどりの基本計画 2010(案)の確認

委員長

本日の資料は、皆さまからいただいたご意見やご指摘、東京都との協議内容を調整したうえで基本計画の最終案としてとりまとめたものである。本委員会と改定庁内会議での協議を経て、最終修正作業を行い、最終的な計画が確定される。事務局より、前回からの変更点を含めて、「小平市みどりの基本計画 2010（案）」についての説明をお願いしたい。

（事務局より、おもな変更点を中心に小平市みどりの基本計画 2010（案）について説明）

委員長

前回のご指摘に対する改善点を中心にした説明であった。重複して記述されていた部分を整理して解りやすい構成となっている。学校の森づくりは、みどりの学校づくりとして幅広い内容を持つように変更した。また、市民参加や意識啓発に関すること、緑化基金の充実などについて補完している。用語集の項目の追加と、よくわかる小平市みどりの基本計画 2010 の作成を予定している

みどりの基本計画は、広く一般市民の方に公表される。内容や表現等について、市民の視点からのご意見をお願いしたい。

委員

学校の森づくりからみどりの学校づくりに変更したことで、大きな木だけではなく、花壇や生垣づくり、ビオトープづくりなど、想定されることが多くなり良かったと思う。

資料-4の小平市みどりの基本計画 2010（案）の構成一覧は、分かりやすいので、本文の中にも入れてほしい。

委員

用語の解説にある語句は本文の中に索引参照の記載があると分かりやすい。

委員

11 頁にある人口の推移に関するグラフは、色付けするなどして見やすくしてほしい。年号は西暦を並記したほうが理解しやすい。また本文中に、人口の推移がみどりに及ぼす影響についての記述を入れて頂きたい。

16 頁にある樹木畑とはどのようなものを指しているのか。

51 頁の「森のカルテづくり」はとても良い施策だと思う。この中に植生調査の実施を加えてほしい。

59 頁の図に示されている小金井カントリークラブは、61 頁の将来イメージ図では都市計画公園となっている。これによると将来公園になることが確定的である印象を受ける。

小平市自治基本条例の中にある、持続可能なまちの継承、市民参加・協働による市民自治への取り組み等の理念や考え方を、基本計画にも織り込んでほしい。

事務局

小金井公園の記載は、東京都の都市計画決定に基づいている。都市計画公園の考え方については、分かりやすいように、文章による説明や図の表現方法などを工夫したい。

自治基本条例にある市民参加や市民協働といった理念は、現在策定中のみどりの基本計画の中に充分反映されていると考えている。この検討委員会自体も、市民参加の手続きを重視した考え方に基づいて実施している。

委員

農地は毎年 5ha ずつ減少している。農地を大切にする方針に対する施策内容が 88 頁に掲げられており、この中に生産緑地の斡旋または買い取りとあるが、買い取りがおこなわれた例を聞いていない。農地の保全策としては現実的ではないと思う。

事務局

生産緑地の買い取りに関しては、都市計画道路の買収にともなう事例が報告されている。道路以外の生産緑地の買い取りは進んでいない現状がある。現在、国や東京都では、公用的な利用の場合は、農地の貸し借りを認める等の議論も進められており、これらの動向も視野に入れていきたい。

委員長

18 頁に農地の現況が示されているが、文章中に農地が減少している動向、実情等についても記

述を加えて頂きたい。

27 頁に農地が減少していることが示されている。みどりを保全するためには、現行の制度では十分な対応が難しく、新たな方策を検討することが必要とされることなどを、課題として書き加えることを検討して頂きたい。重点施策にある郷土景観保全施策の検討の中にも同様な考え方を解りやすく示してほしい。

委員

市長意見 6 行目の文章は解りやすい表現を検討して頂きたい。

本文中の小平の地図は地区名が解るようにして頂きたい。枠の有無なども統一したほうが良いのでは。

17 頁に公園整備を進めるとあるが、具体的にはどのような方法を考えているのか。

計画の中では、特に市民アンケートと重点施策が興味深かった。市民アンケートの結果が重点施策に連動して反映されていることを示して頂きたい。

方針別施策の注意書きは 1 つに集約してはどうか。

重点施策の関係課は、環境課や財政課などの記載もおこなって、市全体の協力体制を示してはどうか。

79 頁の重点施策の評価と見直しはどのような方法でおこなうのか。可能であれば明記して頂きたい。

事務局

ご意見の中で改善すべき点是对应を検討したい。関係各課の記載は、重点事業を進める際の主となる部署を示しており、庁内で調整をした結果に基づいている。

これまでは、計画に対する評価と見直しがおこなわれていなかった。今後は、毎年各事業の実績を確認する。中間時には緑被率などのデータを収集して再評価を行うとともに、重点施策を中心に進捗状況を評価し、軌道修正等が必要な場合は対応を図っていくことになる。

委員長

本会議後に頂いたご意見に関しては、可能な範囲で対応させて頂く。事務局と調整を行いながら、冒頭のスケジュールに沿って進めていきたい。委員会としては本日が最終回となるため、最終案の決定については委員長一任とさせて頂きたい。

事務局

計画の中に、写真を掲載する予定である。提供して頂ける写真がある方は来週中までに事務局へお寄せ願いたい。また、資料編の中に「よくわかる小平市みどりの基本計画 2010」の作成を予

定している。本編の主旨に沿って、小学生高学年以上が理解できるような内容としたい。

委員長

本日頂いたご意見を中心に再精査のうえ、基本計画の取りまとめを行う。最後に、この検討委員会を通じて感じたことや、市への要望、日頃思っていることなど、自由なご意見をお願いしたい。

委員

初めての経験でたいへん勉強になった。1つ1つの言葉が難しく感じた。イメージはできても聞かれると上手く答えられない言葉がたくさんある。市民にわかりやすい計画にして頂きたい。

委員

思いがけずこの場に参加することとなった。保護者の立場として、また、地域との関わりの中で、私たちは公園と共に生活していると実感することが多々ある。公園は子ども達にとっては一生の思い出となる場所でもあり、きちんと守って、次の世代に繋げていきたいと思う。また、たから道や、屋敷林を見せて頂き、たいへん勉強になった。先人達の思いが伝わってくるような気がして、このような歴史的資産も、子どもたちに伝えていきたいと思う。

委員

花や水、生きものが好きなことから応募させて頂いた。専門的なことが分からず、皆さんの意見を伺って感心することが多かった。いろいろと勉強をさせて頂いた。これから基本計画をしっかりと読んで、孫達にも伝えていきたいと思う。

委員

数年前に都市農業基本構想の懇談会に参加させて頂いた。生産緑地の難しさや、みどりを守ることの大変さを感じている。こだいら菜の花プロジェクトや、保存樹林での植生調査、農大の学生とともに樹林を守る活動等を行っている。市民が参加する方法はいろいろ考えられるが、みどりや環境を守っていくためには、市民が参画できる具体的な手法を進めてくべきだと思う。また、ボランティアによる活動であっても、専門的な知識や技術が必要である。基本計画にある市民連絡協議会の設立等によって、市民活動の幅が広がっていくことを期待している。また、その際には協力していきたい。

委員

花小金井地区の公民館や、ケアセンターで60代・70代の方に書道を教えている。小金井公園は、季節ごとに美しい花が見られ、よく利用しているが、書道の後に皆でくつろげるような公園が近くにもあるといいと感じている。家の近所に藤棚のある小さな公園があり、その近くや、道路で子どもがサッカーをしているのを見かけるが、公園の一角に、子どもが安心して野球やサッカーができるスペースがあるといいと思う。計画の完成を楽しみにしている。

委員

日頃、学校現場でお世話になっている方々の考えを伺うことができた。小平市民でありながら、皆さんが、大変苦勞しながら、小平のみどりや環境を守り、作ってきたことを知らずにいた。これから、この場で学んだことを、子どもたちや保護者の皆さん、他の校長先生等に知らせていきたい。いろいろな人が知ること、参加する方法があるということ、学校はいろんなことの中心になるということを改めて思った。学校の校庭が皆の憩いの場となるにはどうしたらいいかということも1つの課題である。今後、学校や公園などの有効活用は重要になると思う。

委員

農地を守る立場で参加した。子どもの頃は、この辺りは畑と雑木林ばかりであった。物質的に豊かになった今、改めて昔の姿を取り戻そうとしており、不思議な感じがする。時勢が変わり、都市農家もどうやって農地を守っていくかの岐路に立っていると思う。委員会では、貴重な意見を伺うことができた。これからも、農地やみどりを守っていくことを真剣に考えていきたい。

委員

検討委員会の場で話していることと、日々の生活で目にすることとのギャップを感じている。この計画を運用していく立場にある行政は、言葉だけが先走ることのないように、計画の真摯な取り組みと推進をお願いしたい。

委員

6回の会議で皆さんと意見を交換させて頂き、10年後の小平の姿を少し具体的にイメージできるようになった。みどりのボランティア活動を通じ小平のみどりについて聞かれることがある。今回の計画は以前のものとは比べて、より具体的なものとなった。特に第9章にある計画の推進に向けての取り組みの考え方が大切だと思う。

10年単位の計画であるが、小平のみどりを次世代へ繋ぐためには、今の子ども達が10年後にこの計画を生かせるかに係っていると思う。

計画を進めるには、具体策が大切である。雑木林の保全を考えた場合、景観的な保全と生物の多様性を目指した保全では、異なった手法が求められる。また、保全の考え方は地域や地区において一律ではなく、それぞれにふさわしい姿があると思う。

みどりは、生きたものの集団である。生物多様性の観点から、みどりを生態系の中にあるものとして位置づけたみどりの保全を考えたい。このためには、生物に対する研究・調査を行った上での対応が必要となる。

この基本計画は、必要と考えられる最低条件は満たされていると思う。いろいろと勉強になった。

委員長

皆さんと一緒に、小平のみどりの将来について考えてきた。1年間の検討の中で、小平の将来イメージに向けた目標が定まり、具体的に為すべきことについて共有することができたと思う。この計画を実際に実行していくには、皆さんの協力が必要である。行政とともに少しずつ輪を広げて行ってほしい。小平の市民ではないが、違った立場から協力していきたい。小平の素晴らしいみどりを実現させて頂きたい。

3. その他

なし

事務局

本日をもって全6回のみどりの基本計画検討委員会を無事終了することができました。

委員の皆さまより、専門的な見地、あるいは市民の目線に立ったご意見等、闊達なご議論を頂き、計画の中にも反映されたと考えています。

みどりの基本計画は、前年の準備期間をあわせて2年間の改定作業を行ってきました。20年度は、みどりの現況調査、アンケート、7箇所の地区別懇談会等を実施して、みどりの基本計画の素案を取りまとめました。

21年度は、市民公募による委員の皆さまにご参加頂き、みどりの基本計画検討委員会を実施しました。また、昨年度から継続して実施している、改定庁内会議は次回が最終回（第11回）となります。その他には、庁議や市議会での報告等があり、3月末に計画が完成する予定です。

計画完成後の進行管理が大切であると考えており、行政一同、みどり施策を真剣に行っていく所存です。委員の皆さまには、今後ともご意見とご協力を賜りたいと思っています。お疲れさまでございました。

以上